

令和7年度 第9回

宍粟市教育委員会

会議録

(要点筆記)

日時 令和7年12月17日 午前10時30分から

場所 宍粟市役所本庁舎 4階会議室

## 第9回（定例）宍粟市教育委員会会議録

### ● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和7年12月17日（水）午前10時30分～11時15分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番6 宍粟市役所本庁舎 4階会議室

### ● 会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人 教育長

片山繁樹 委員

柴山佑太 委員

中川まゆみ 委員

平田恵子 委員

事務局

大砂正則 教育部長

鳥羽千晴 教育部次長

大谷哲也 次長兼教育総務課長

中田 吏 学校教育課長

川本正史 こども未来課長

清水将道 社会教育文化財課長

大田貴久 施設整備課長

大北真彰 山崎学校給食センター所長

水口恵子 次長兼人権推進課長

岩本浩二 教育総務課副課長

### 1 開会

中田教育長が開会した。

### 2 会議の成立宣言

出席者数5名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

### 3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、柴山委員に決定した。

### 4 前回会議録の承認

令和7年度第8回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の会議録について、大谷次長兼課長が説明し、承認された。

### 5 教育長報告

次の3点について、中田教育長が報告した。

#### （1）12月議会上程議案の可決について

11月の教育委員会で審議いただいた補正予算案及び条例案については、12月11日に可決されました。

## (2) クマよけ鈴の配付について

今年はクマの出没による被害が全国的に問題となっており、また、市内でも目撃情報があり、保護者や地域から心配の声が届いていることから、児童生徒の外出時の安全対策として、クマよけ鈴を配付することとしました。あわせて「クマと遭遇しないための留意事項」を保護者に配付し、児童生徒と一緒に確認していただくよう周知しました。

## (3) 第5回しそう教育創造フォーラムについて

5回目となるフォーラムを11月29日に開催し、部活動の地域展開について議論していただきました。まだ先が見通せない状況ですが、引き続き関係者と協議し、取組を進めてまいります。

## 6 協議報告事項

### (1) 令和7年度（令和6年度事業対象）宍粟市教育委員会点検・評価について

1～25P及び当日配布資料により、岩本副課長が説明した。

### (2) 教職員の勤務時間実態調査結果報告書について

26Pにより、中田課長が説明した。

### (3) 令和8年度版「宍粟の教育」編集方針について

27～28Pにより、中田課長が説明した。

### (4) 宍粟市における小中一貫教育に係る取組と今後の予定について

29～32Pにより、中田課長が説明した。

### (5) 第3回宍粟市部活動地域展開推進委員会について

33～37Pにより、中田課長が説明した。

### (6) 令和8年度幼稚園・保育所・こども園・あずかり保育・学童保育申込状況について

38～39Pにより、川本課長が説明した。

### (7) 令和7年度宍粟市人権啓発事業 若者フォーラムin 宍粟 多様性を認め共生する社会について

40～41Pにより、水口次長兼課長が説明した。

### (8) その他

#### ・しそう二十歳の祝典について

当日配布資料により、清水課長が説明した。

## 委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

26ページの勤務時間の実態調査の件ですが、全体的に昨年度よりもやや増えており、兵庫県の目標が45時間ということから考えますと、中学校の教頭がかなりオーバーし、負担感が大きいと思います。今後どうしたら減っていくか、また、校長の勤務時間も延びてきているので、管理職に向けて呼びかけていく必要があると思います。

次に、この報告は教師の働き方改革の観点からの報告だと思いますが、年休の取得日数は、教育委員会として何か集計されているものがありますか。または何日間を目標に取得しようといった指導や目標はありますか。わかる範囲で構いませんのでお聞きできればと思います。

(中田課長)

年休の取得については、全ての学校に調査を行っているわけではありませんが、管理職から、夏季特別休暇の取得と年休の年間5日程度について、ほぼ全ての先生が取得できている状況にあると報告を受けています。

(片山委員)

年休制度は理由を言わなくても休める制度だと思いますが、そもそも学校運営について先生が休まない前提で行われているところが、日本の教員が休めない原因の1つになっていると思います。誰かが休んだら他の人にしづ寄せが行く、ひいては子どもにも不利益を生じると考えていくと、どうしても先生が休みにくい状況になっていると思います。もちろんそれをお互いにカバーしながら休暇を取られていると思いますが、休む前提での備えといいますか、各学校でその体制を構築し共有ができればと思います。すでに備えをして共有されている学校も多いと思いますが、あらためてそういった部分への指導等もお願いします。

勤務時間の調査結果も踏まえ、年休が取得しやすい学校現場になればと思いますので、よろしくお願いします。

(中田教育長)

40ページの人権啓発事業「若者フォーラム」で、昨年、参加者の方から「若者」とは、トークをされる方が若者なのか、若者向けのトークをされるのか、それとも若者に参加してほしいという趣旨なのか、たずねられました。担当課としては、どういった意味で考えていますか。

(水口次長兼課長)

そもそもは若者の人権啓発を目的としており、参加対象者を若者と想定しています。しかし、実際の参加者は年配の方が多くなっています。

(中田教育長)

そうしますと若者フォーラムのトークリレーは、発表者の高屋さんは若者として壇上に立って、船曳さんは保護者として壇上に立って、若者向けの人権啓発を目的としたトークが行われるということですね。わかりました。

## **7 次回会議の招集について**

令和8年1月19日（月）午前9時から、宍粟市役所本庁舎4階会議室において、令和7年度第10回宍粟市教育委員会を開催することとした。

## **8 閉会**

柴山委員が閉会した。